

平成25～26年度の2年間、科学技術人材育成重点校(海外連携)に指定され、以下の取り組みを実施しました。
平成28年度も再び指定を受け、さらに発展させた取り組みを行います。

4カ国との定常的な連携による共同調査研究、フィールドワーク、発表、討論を実施しました。



ESD(Education for Sustainable Development)に関する諸問題について、本校生徒及び広島県立広島国泰寺高校生徒が韓国・チェコ・タイ・ドイツの生徒と一緒に、共同研究発表会、研究課題に関する討論、フィールドワーク、報告会等を行いました。

科学技術人材育成重点校(海外連携)では、以下の3つの能力の育成を目標にしました。

ESDの視点 環境問題やエネルギー問題など世界的規模で取り組むべき課題について持続可能性を視点に、多様な観点から思考し、判断する能力を育成する。

国際的視野 地域固有の課題を地球規模で捉える活動を通して、問題を発見する能力や問題を解決する能力を育成する。

語学力 海外の生徒と英語で徹底的に議論する活動を通して、英語でのコミュニケーション能力やプレゼンテーション能力を育成する。

連携国 ESDテーマ	平成25年度の実践	平成26年度の実践
韓国 干潟の 開発と保全	韓国からの訪日 研究発表(韓国:シファ湖やセマングムの環境保全、本校:瀬戸内海の開発と環境保全)や松田治名誉教授(広島大学)による講義、海老干潟でのフィールドワークなど	韓国への訪問 研究発表や意見交流(ムンサンスオク高校にて)、清溪川、始華湖葦湿地公園・潮力発電所水門の視察、キム教授(韓国海洋科学技術院)の指示による干潟実習など
チェコ 発酵・醸造と その利用	チェコからの訪日 ハイスクール・イン・ヴィシュコフの生徒との交流(共同科学実験、フィールドワーク、講義、研修のまとめ、発表など)、宮島でのフィールドワーク、酒類総合研究所での研修・施設見学など	チェコへの訪問 互いの研究成果の発表、や討論、発酵に関する実験、ビール醸造所での講義・視察、メンデル大学やカレル大学での講義や実習など(広島国泰寺高校も参加)
タイ 水と ゼロエミッション	プリンセス・チュラポーン・サイエンスハイスクール生徒とTV会議による交流や、国内研修(諫早湾干拓地や熊本大学地下水環境リーダー育成国際共同教育拠点など)での研修や熊本水遺産グループ別研修など	タイからの訪日 北九州市立大学や広島大学での講義や研究室見学、ウォータープラザ北九州や温井ダムの見学、本校の「SSHの日」での研修のまとめの発表やポスター発表、意見交流など
ドイツ ゴミ処理問題 エネルギー問題 温暖化問題	ドイツへの訪問 ハイゼンベルグ・ギムナジウムでの互いの研究成果の発表を通じた交流や、ヴォーバン住宅・サッカースタジアムでの太陽光発電・小型水力発電所などの視察など(広島国泰寺高校も参加)	ドイツへの訪問 ギムナジウム・アン・デア・シュタットマウアーでの都市ヒートアイランド現象についての講義・フィールドワーク・まとめや、マインツ市環境省での講義、再生可能エネルギー会社の視察など



文部科学省指定

Super Science Highschool

スーパーサイエンスハイスクールの取り組み

平成15年度の指定以来、連続して研究開発を実施しています。

広島大学附属高等学校

